

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【公開番号】特開 2002-77615 (P2002-77615A)
 【公開日】平成 14 年 3 月 15 日 (2002.3.15)
 【出願番号】特願 2000-261618 (P2000-261618)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/407 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/19 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/40 1 0 1 E

G 0 6 T 1/00 4 6 0 A

H 0 4 N 1/04 1 0 3 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 2 日 (2007.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 分光特性が経時変化するとともに該分光特性が時間の経過により安定する性質を有し、且つ個体によって前記分光特性が異なる光源を照明として、画像読み取り用のセンサを用いて画像を読み取る画像読取部を有する画像読取装置であって、

前記光源の分光特性を安定した状態と略同じ状態にさせるための所定条件で前記光源を点灯させて所定の画像を前記センサで読み取り、前記センサで前記所定の画像を読み取った場合に前記センサから出力されると期待される信号の出力値と、前記センサで前記所定の画像を実際に読み取って出力された信号の出力値との差分に基づいて画像処理を実行することを特徴とする画像読取装置。

【請求項 2】 前記画像処理は、少なくとも前記センサから出力される信号の出力値を補正する処理を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の画像読取装置。

【請求項 3】 前記センサから出力される信号の出力値の補正は、前記センサで補正用画像を読み取って出力された出力値と前記差分により得られた値とを加算することによって行われることを特徴とする請求項 2 に記載の画像読取装置。

【請求項 4】 前記所定条件での光源の点灯は、前記光源の光量調整に伴う光源の点灯であることを特徴とする請求項 1 及至 3 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【請求項 5】 前記所定の画像は、所定の色成分ごとに表された画像であることを特徴とする請求項 1 及至 4 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【請求項 6】 前記光源は蛍光灯であることを特徴とする請求項 1 及至 5 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【請求項 7】 分光特性が経時変化するとともに該分光特性が時間の経過により安定する性質を有し、且つ個体によって前記分光特性が異なる光源を照明として、画像読み取り用のセンサを用いて画像を読み取る画像読取部を有する画像読取装置の制御方法であって、

前記光源の分光特性を安定した状態と略同じ状態にさせるための所定条件で前記光源を点灯させて所定の画像を前記センサで読み取り、前記センサで前記所定の画像を読み取った場合に前記センサから出力されると期待される信号の出力値と、前記センサで前記所定

の画像を実際に読み取って出力された信号の出力値との差分に基づいて画像処理を実行することを特徴とする画像読取装置の制御方法。

【請求項 8】 分光特性が経時変化するとともに該分光特性が時間の経過により安定する性質を有し、且つ個体によって前記分光特性が異なる光源を照明として、画像読み取り用のセンサを用いて画像を読み取る画像読取部を有する画像読取装置を制御する制御装置であって、

前記光源の分光特性を安定した状態と略同じ状態にさせるための所定条件で前記光源を点灯させて所定の画像を前記センサで読み取り、前記センサで前記所定の画像を読み取った場合に前記センサから出力されると期待される信号の出力値と、前記センサで前記所定の画像を実際に読み取って出力された信号の出力値との差分に基づいて画像処理を実行することを特徴とする画像読取装置の制御装置。

【請求項 9】 分光特性が経時変化するとともに該分光特性が時間の経過により安定する性質を有し、且つ個体によって前記分光特性が異なる光源を照明として、画像読み取り用のセンサを用いて画像を読み取る画像読取部を有する画像読取装置の制御プログラムを格納した記憶媒体であって、

前記制御プログラムが、前記光源の分光特性を安定した状態と略同じ状態にさせるための所定条件で前記光源を点灯させる点灯工程のコードと、前記点灯工程で点灯された前記光源により照明された所定の画像を前記センサで読み取る読取工程のコードと、前記センサで前記所定の画像を読み取った場合に前記センサから出力されると期待される信号の出力値と、前記センサで前記所定の画像を実際に読み取って出力された信号の出力値との差分に基づいて画像処理を実行する工程のコードとを具備することを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 9
【補正方法】削除
【補正の内容】